



第136号

http://www.wagner-society.org/

Wagnerian

ワグネリアン

発行所

ワグネル男声合唱団三田会

発行人

吉川信男

ワグネル男声合唱団

三田会事務局

デン・クエスト(株)吉川信男 気付

TEL 03-3354-1505

FAX 03-3350-0916

■目次【1・2】オールワグネル男声フェス 【2】スプリングコンサート 【3】新年会報告 【4・5】若手OBとOB合唱団 【6】若手OBと現役交流会【7~11】Communication Salon/各地三田会・同期会・旅便り・ゴルフ・訃報追悼 【10】谷口新連載 【12~17】追悼多田武彦先生 【18】関西合同三田会出演 【19~25】現役便り・卒業文集 【26】志木高通信 【27】Concert Information 【28】日程表・名簿委員から・編集後記

2019年秋、「オールワグネル男声フェスティバル」開催へ

「オールワグネル男声フェスティバル(仮称)」とは、志木高ワグネル・現役(大学)ワグネル・ワグネルOB合唱団というワグネル三団体でのコンサートです。志木高ワグネルが2008年(H20年)に誕生して10年となります。当時のことを思い起こせば、現役は2000年(H12年)開催125回定演から部員数の激減時代となり、2007年(H19年)の卒業生4人という状況も現出しました。三田会は下田会長の下、2005年(平成17年)にはワグネル維持会を設立し維持会から現役への援助が開始された時期で、そのような厳しい状況の中での、ワグネル男声として初めての高校ワグネルの誕生でした。現役と三田会で、志木高ワグネルの発展に

「オールワグネル男声フェスティバル」実現に向けて ワグネル男声三田会会長 吉川信男(S47年卒)

「オールワグネル男声フェスティバル(仮称)」とは、志木高ワグネル・現役(大学)ワグネル・ワグネルOB合唱団というワグネル三団体でのコンサートです。志木高ワグネルが2008年(H20年)に誕生して10年となります。当時のことを思い起こせば、現役は2000年(H12年)開催125回定演から部員数の激減時代となり、2007年(H19年)の卒業生4人という状況も現出しました。三田会は下田会長の下、2005年(平成17年)にはワグネル維持会を設立し維持会から現役への援助が開始された時期で、そのような厳しい状況の中での、ワグネル男声として初めての高校ワグネルの誕生でした。現役と三田会で、志木高ワグネルの発展に



や合唱コンクールへの参加等、その充実した活動は目を見張るものであります。志木高ワグネルの発足時から、下田会長始め三田会は、志木・現役(大学)・OB合唱団というワグネル三団体の発展と相互の絆を深めるために、ワグネル三団体によるコンサート開催を是非行いたいと考えました。この構想は、志木高吉川誠二先生、現役・佐藤正浩先生、三田会・OB合唱団、三団体の基本的な合意を得、それぞれの態勢が整う機会を待っていました。個別の交流も図られ、現役がラフォルジュルネ金沢からの招待を受けた際には、佐藤先生から志木高生にも参加を呼びかけられ共演が実現しています。また、昨年の現役定演タンホイザーでも、定例のOB合唱団賛助出演と共に志木高ワグネルの皆さんにも参加いただくことができ、一緒に練習を行う機会が得られました。昨秋、合同練習の後で、「オー

や合唱コンクールへの参加等、その充実した活動は目を見張るものであります。志木高ワグネルの発足時から、下田会長始め三田会は、志木・現役(大学)・OB合唱団というワグネル三団体の発展と相互の絆を深めるために、ワグネル三団体によるコンサート開催を是非行いたいと考えました。この構想は、志木高吉川誠二先生、現役・佐藤正浩先生、三田会・OB合唱団、三団体の基本的な合意を得、それぞれの態勢が整う機会を待っていました。個別の交流も図られ、現役がラフォルジュルネ金沢からの招待を受けた際には、佐藤先生から志木高生にも参加を呼びかけられ共演が実現しています。また、昨年の現役定演タンホイザーでも、定例のOB合唱団賛助出演と共に志木高ワグネルの皆さんにも参加いただくことができ、一緒に練習を行う機会が得られました。昨秋、合同練習の後で、「オー

ルワグネル男声フェスティバル」の基本的な考えが三団体で改めて共通認識され、実現する方向で各団調整することが確認された次第です。その後、現役から「オールワグネル男声フェスティバル」実施を団内で決定したと連絡があり、三田会は新事業として、昨年11月開催の三田会幹事会や、12月のOB合唱団総会で報告し実現に向け進んでいます。三団体のスケジュールを勘案しつつホールを抑えることは至難で、一年半前のホール予約を念頭に、現状、来年(2019年)10月開催を目指しています。尚、コンサートは、三団体の単独演奏と合同ステージとなりますが、合同演奏では佐藤先生に指揮をお願いしており、ワグネナーを取り上げる方向でオケ演奏付きも検討課題となっています。畑中良輔先生、引き継がれた佐藤先生指揮の現役定演ワグナーステージでは、2000年以降、賛助出演のOBが主催者である現役の人数を毎々上回り、参加いただいたOB諸兄のご協力に感謝しつつも十分に増えない現役人数の現実があり、主客転倒の感を持っておりました。三団体の主催であれば、OB人数を顧慮する必要もなく、多くのOBの皆様がオンステシていただき、共にワグネナーを高らかに歌いたいと考えております。

「関西合同三田会・奈良大会」の参加報告

関西ワグネル 長尾雄平(S58年卒)

既報の通り、昨年の11月26日(日)に奈良県の橿原神宮・神宮会館で開催されました「関西合同三田会」の記念式典に関西ワグネルとしては初めての出演をさせていただきましたので、ここに当日の内容を中心に報告をさせていただきます。

先ずは、ご参加いただいた関西ワグネルの団員の皆様、また本件の趣旨に賛同し名古屋・東京から駆けつけていただいた皆様、そして大変お世話になった平越会長様・喜多部会長様をはじめとする奈良三田会の皆様方に御礼を申し上げます。

「関西合同三田会」は、その名の通り関西地域の14の慶應俱樂部・三田会で構成されており、毎年秋に各地持ち回りで開催されます。昭和52年の第1回大会から数えて今回で41回目の開催



となるそうです。また今回の式典では、新塾長に就任された長谷山塾長による記念講演も企画されていて、そういう意味でも大変注目のイベントでありました。

では、約400名の塾員を集めた当日の記念式典でのワグネルの演奏の様子について申し上げます。会場となった「橿原神宮」は、皆様ご承知の通り二千六百余年前、日向から大和へ苦難を乗り越えて東征を果たされた初代神武天皇が祀られていることでも有名であります。実際に小生も今回初めて行ってみて、その荘厳さと圧倒的なスケールに感動をいたしました。

式典会場となった神宮会館は、その入り口にほど近い場所にあります。奈良県の南部にありますので、関西在住の団員も

平均2時間くらいかけての集合でした。当日は絶好の快晴で、ただとても肌寒い朝だったと記憶しています。我々の演奏は、なんとこの記念式典の冒頭を飾るオーブニングに予定されていました。そしてその前に塾員全員で「塾歌」を3番まで斉唱するのですが、我々ワグネルOBが壇上にスタンバイして、参列者のお手本として歌をリードするというのは、実は事務局との打合せの最終段階で決まったことでした。その「塾歌」斉唱での出来事をひとつ。

皆さん、ご存じでしたか？、塾歌の2番と3番の間には間奏が入るということを。(小生は知りませんでした)実際本番では客席のかんりの塾員の方々が飛び出していました。一方で、我々団員はもちろん全員がしっかりと間奏を待っての3番の歌い出しで、その時点から客席では「さすがにワグネル！」との雰囲気が高まりました。種明かしをすれば、リハで

「塾歌を3番まで歌う時は、2番と3番の間に間奏が入るので飛び出さないように注意してくださいね。」との事前のアドバイスのお蔭だったのですが(笑)。今から思い起こすと、この空気感が、その直後の

我々の好演奏をもたらしした遠因のような気がします。さて、塾歌斉唱のあとすぐに、ワグネルの出番となります。

曲目は、「若き血」「慶應讃歌」その後MCを入れての「希望の島」「見上げてごらん夜の星を」2回目のMCを入れての「三色旗の下に」「丘の上」の合計6曲、約20分のステージでした。1回目のMCではワグネルソサイエティー男声合唱団の簡単な紹介を。また2回目のMCでは、ご当地出身の倉知恒さんと月原英郎さんの披露と遠隔地からの参加者5名の紹介をいたしました。

本ステージの本番に至るまでには、指揮を務めてくれた高田俊吾さんとも相談し、水曜の関西ワグネルの通常練習の3回分を本ステージの練習に充てました。歌いなれたカレッジソングが中心の曲目構成ではありましたが気が抜かず、ていねいに練習をした甲斐もあって、我々としては満足な演奏を披露させていただけたのだと思っております。

式典終了後の懇親会では、婦人会の奥様方から「拝聴して、涙がでてきました。関西では演奏会はなさらないのですか？されるときは、必ずお声をかけてくださいね！」と言われたのも、とても嬉しいことでした。男声コーラスによるカレッジソング・愛唱歌を初めて聴いたという塾員も大勢いらっしゃったと思います。そういう皆様にもご満足いただき、ワ

グネルのプレゼンスを高めることに少しでも貢献できたとするならば、大成功ではなかったかと思っております。

個人的には吉川会長から、このお話を受けさせていただいた時から、かなりのプレッシャーのなかで事務局対応をさせていただきましたが、当日のMCや久しぶりにベースパートを歌わせていただく機会にも恵まれて(笑)大変勉強になったことが印象に残っています。

最後に、奈良三田会の平越会長と喜多部会長様からワグネルへのお礼のメッセージを掲載して終わりとさせていただきます。

「この度の、関西合同三田会奈良大会では、ワグネルOBの皆様が大変、お力添えをいただくことができ、おかげ様で記念式典の冒頭から、大変力強い雰囲気にするのができました。会場の橿原神宮というロケーションにマッチした、男性的なイメージだったかと思えます。ご来場の皆様からも大変ご好評をいただき、成功裏に終えることができました。どうぞメンバーの皆様にも宜しくお伝えくださいませ。」

■参加メンバー(敬称略)

- 倉知恒、池田寛水、棚井俊雄、岡本尊志、森田和男、芳川雅美、掛川毅雄、横内憲一、宮本光男、月原英郎、野口潤、桑田一徳、田村雄司、長尾雄平、亀井淳一、中田一夫、西山泰之、竹内昭夫、近藤誠、高田俊吾、吉岡大悟